

図書館のサービス計画

- 鎌倉市図書館サービス計画を叩き台とし、ともに考える -

1. 鎌倉市図書館について (『サービス計画』の前提)

- 図書館のあゆみ
- 機構および職員
- 施設
- 予算
- サービス等

2. 鎌倉市図書館サービス計画について

- 発端 (詳細は経緯等参照)
 - ・市内 5 地域に各 1 館の図書館を設置する地域館構想が、平成 10 年度中の実現予定がたったため、地域館構想終了に向けた新たな目標の設定を図ろうとした。当初は内部資料的な指針として考えていたが、議会でも関心が高く市民向け公開資料とした。
- 策定方法 (詳細は経緯等参照)
 - ・係長 1 名と若手を選抜。各館 1 名、計 5 名からなる「図書館サービス計画策定委員会」を設置し、毎月 1・2 回のペースで計 29 回開催。先進事例「座間市立図書館サービス計画」(平成 9 年 2 月)を参考にして、館員全員から意見等を出してもらい、それらをまとめて素案を作成した。
 - ・内容としては、市民からの声や職員が不足していると考えるサービス、各業務等に理想のサービスを盛り込む。敢えて[絵に描いた餅]を目指し短期・中期・長期に分類した。
 - ・素案をカウンター等で配布し(650部)利用者等の意見を収集(1ヶ月間で36件)。追加・修正等をして案を作成した。
 - ・各段階で主に図書館協議会等に諮り、修正等をしてまとめた。
 - ・市議会文教常任委員会、社会教育委員会議、教育委員会定例会、小・中学校校長会等に報告した。
 - ・教育長決裁で企画部長の合議をとった。

■ PR 方法

- ・「広報かまくら」に記事を掲載する。(資料12)
- ・市政情報宅配便のメニューに「図書館サービス計画の説明」をのせる。(資料13)
- ・鎌倉市の図書館 - 年度事業報告 - に抄録をのせる。(配布資料)
- ・現物を配布する
- ・起案文書には全て、その事業がサービス計画の何に該当するか記載する。(資料14)

■ 効果

- ・利用者への説明責任の一端をはたすことができる
- ・市役所・市議会等へのアピールができる
- ・職員自身の図書館事業の確認と自覚を促すことができる

■ 達成事業 (資料15)

3. グループ討議 (各テーマ5分で)

■ 発端について

時期は？

■ 策定方法について

館内委員会方式は？どんな方法が良いか？

パブリックコメントの時期と方法は？

内容は？

■ PR 方法等について

他の方法は？

4. まとめ

■ 改訂作業或いは策定作業に向けて